教育は人なり、子供を思う熱く、温かいハートが基本

「子供が輝く学校づくり」(1年次) ---

一人一人の子供たちが,やさしい人間関係の中で,それ ぞれの良さを発揮して生き生きと活動しながら,自己の 可能性(自己肯定感)を広げていくことのできる学校に

基本方針

日本国憲法並びに教育基本法の精神と、仙台市教育ビジョン(仙台市教育構想・杜の都の学校教育)を基に、本校児童の特性と地域の実態を踏まえ、将来の夢を持ち、叶えるために自分を高め、心豊かでたくましく、実社会で強く生き抜く力を持つ児童の育成に努める。また、地域社会や保護者との連携を強め、広瀬小学校の伝統と歴史を大切にし、和と協調の精神に満ち進取の気概を持って、開かれた学校、特色ある学校づくりの推進に努める。さらに、「協働型学校評価の重点目標」の趣旨を踏まえ、学校・家庭・地域の三者が協働して、児童を育てるように努める。

【学校教育目標】 自分を拓き 強く生き抜く力を持つ児童の育成

【2024 重点的に育成する資質・能力】

自分の良さをいかし、共に学びながら表現・行動する力

◇楽しい学校

・安心・安全な環境の中, 学習が楽しいと 感じ, 自分の良さを発揮できる学校

◇信頼できる学校

- ・子どもの成長を実感したり、子どものことを第1に考えたりして、家庭から温かい支援が得られる学校
- ◇応援したくなる学校
- ・地域とともに教育活動に取り組んでいる学校
- ◇働きがいのある学校
- 教育目標達成に向けて協働できるチーム ワークのある学校

「教育は人なり、子供を思う熱く、

温かいハートが基本」

- 〇子どもを愛し、共に学ぶ (成長する) 教師
- ○心身共に健康で、笑顔と意欲あふれる教師 ○常に研鑽に励み資質能力の

向上に努める教師

- ○互いを尊敬し、協力しあう教師
- ○保護者や地域との連携を大切にする教師

目指す子供像

-主体的な学び-

-優しい心-

〈自分や互いの良さを

認める力〉

- ○時と場に応じた挨拶や相手を思い やる言葉遣いができる。
- ○相手の立場に立って優しく接する ことができる。
- ○学級活動,児童会活動を通して,互 いの良さや可能性を発揮しながら 合意形成の仕方を身に付けている。

〈主体的に考え,仲間と共 に問題解決する力〉

- ○自分の学習を把握し,主体的に学 習に取り組む力を身に付けてい る。
- ○自分の考えを持ち, 社会で活用で きる知識技能を身に付けている。
- ○様々な考え方に触れ,協力しなが ら問題を解決する力を身に付け ている。

-健やかな体-

〈健康と安全を実践する力〉

- ○基本的な生活習慣を身に付 けている。
- ○計画的・継続的に体力作りに 励んでいる。
- ○バランスよく食べる食習慣を身に付けている。

目指す教師像

学校経営3つの視点プラス1

- 1 人との豊かな関わりや道徳教育の推進等を通して、自己肯定感を高め、相手を思いやる優しい心の育成に努める。
- ② 「できた」「わかった」と感じる授業の実践を通して、学力の向上、意欲的な学びから主体的な学びへ繋げる基礎づくりに努める。
- 3 相談活動の充実や健康教育の推進等を通して、心身の健康づくりに努める。

|プラス 1| 家庭や地域とのよりよい連携を通して,信頼される学校づくりに努める。

子供が輝く3つのプランプラス1(重点取組事項)

1 「優しい心」育成プラン

●心プラン① 児童理解,いじめ防止に向けた取組

(いじめ調査,生徒指導全体会,広小スタンダードの定着(指導⇒実践⇒振り返り⇒支援⇒実践⇒指導)の継続取組並びに家庭への啓発・連携,児童理解の情報共有の場の設定(職員会議),「学級・学年の時間の効果的活用」,全校一斉「ふれあいタイム」の実施,学級づくりの推進,アンケートによる子どもの見取り,不登校対応(わかばルームの効果的運用),

SC・さわやか相談員,関係機関との連携,情報カードの活用,ケース会議の機能化,児童理解月間の設定(児童面談),教育相談(保護者面談 夏(全員)冬(希望者)) 等)

●心プラン② 生命尊重、相手を思いやる心、規範意識等を育む道徳教育の取組

(道徳の時間の指導方法等の工夫(生命の尊重・公共の精神と規範意識の涵養・判断力の育成・基本的な生活習慣の定着),道徳科の授業公開,「あったか言葉・プラスの言葉」「自己肯定感・有用感を高める活動」の推進 等)

●心プラン③ 他者と関わる力や社会性を高める取組

(児童会活動の推進,様々な体験活動の充実,自分づくり教育の推進,委員会活動・クラブ活動の充実,異学年交流の実施,幼保中との交流,等)

●心プラン④ 感謝の心や奉仕の心を育む取組

(無言清掃や奉仕活動の推進,校内外環境整備,感謝を表す場面の設定等)

2 「主体的な学び」向上プラン

●学カプラン① 授業改善の取組

(授業力を高める校内研修の充実,学習アンケートの実施,ICTの活用(クロームブック活用推進),指導体制の工夫[TT,少人数,専科,交換授業],OJTの推進,わかる授業の展開,教材研究,指導力を高める研修・現職教育の充実等)

●学力プラン② 基礎的知識の定着を図る取組

(国語タイム・算数タイム・作文タイムによるスキルの向上, 学び直しの時間, 家庭学習の推進, ICT の活用 等)

●学カプラン③ 読書活動の充実に向けた取組

(読書タイム, 読み聞かせ・素和ボランティアとの連携, 図書館まつり等の充実 等)

●学カプラン④ 学習習慣の確立に向けた取組

(家庭学習のしおりの推進, 宿題の工夫, 広小スタンダードの定着, クロームブックの活用等)

「健やかな体」増進プラン

●健康プラン① 望ましい食・運動・生活習慣を目指す取組

3

(食に関する指導の充実(栄養士),体力向上を図る体育学習の充実,体育的行事や活動の充実,運動環境の整備,運動の日常化を図るための学習カードの活用,保健学習や指導の工夫,体育・保健・給食活動の主体的な活動,感染症対策の各委員会からの啓発並びに家庭との連携,広瀬小スタンダードの定着等)

●健康プラン② 安全安心・自己指導力育成に向けた取組

(広瀬小スタンダードの振り返り(アンケート),感染対策(暑さ対策)の徹底(ハード面ソフト面:各委員会の活動),防犯対策(校内:施錠 メールや校内放送での注意喚起 お便り 等)防犯・防災対応訓練の実施と振り返り,防災教育の推進,●●(防犯等)教室の実施、担任・養護教諭による保健指導、安全点検の徹底(安全点検一報カードの活用) 等)

プラス 1 「家庭や地域との連携」強化プラン

●連携プラン① 教育活動や子供の状況等の共有に向けた取組

(授業公開, 各種おたより・学校 Web ページによる情報発信, メール配信による速やかな情報提供, 学校ボランティアとの連携, 学びのポケットの効果的な活用 等)

●連携プラン② 地域で学ぶ学習の充実に向けた取組

(生活科での体験活動,地域ボランティアの活用,施設・店舗の訪問等を行う生活科・総合的 な学習の時間の充実,地域教材の効果的活用,ボランティアバンクの創設(例:小1サポーター・2年町探検ボランティア・読み聞かせボランティア・陸上記録会応援ボランティア・学習発表会衣装ボランティア・ミシン裁縫支援ボランティア・昔遊びボランティア・野外活動登山ボランティア・広瀬町巡りボランティア・伝承ボランティア・スケートボランティア 等)等)

●連携プラン③ 生活安全・安心・交通安全に関する指導,事故防止に向けた取組

(感染対策の徹底(ソフト面・ハード面),様々な教室の実施(交通安全教室・薬物乱用防止教室 等),登下校の見守り,家庭への啓発と協力(各種お便り・メール・学びのポケット等)警察・防犯協会・交通安全協会・ボランティア等との連携)

●連携プラン④ コミュニティースクール事業の推進

(広瀬学区応援団構想の具現化)

●連携プラン⑤ 異校種間連携の推進

(幼保小との情報交換や訪問,小中連携(陸上指導・合唱,児童館との情報交換,市民センターとの連携事業)) 等

令和6年度 仙台市立広瀬小学校教育プラン